

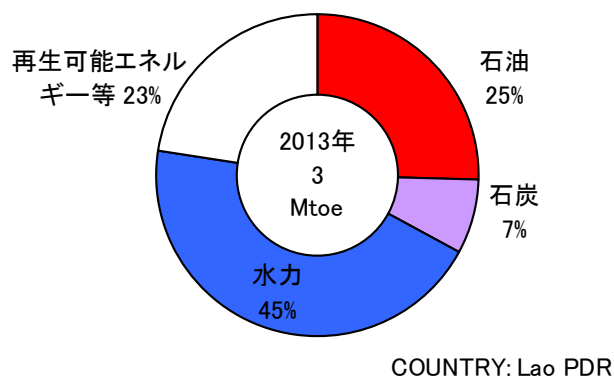
## 1-10 ラオス

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

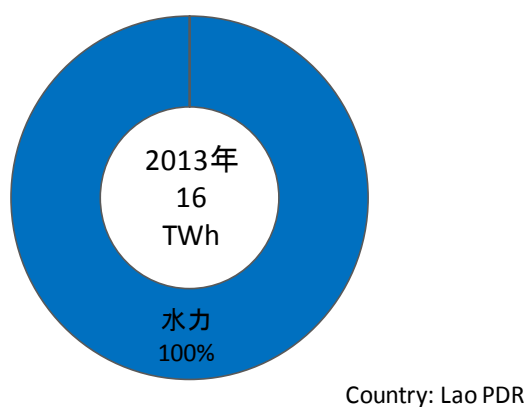
- (1) 一次エネルギー供給量 (2013年) : 3 百万 toe (日本の 1%)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量 (2013年) : 0.44toe (日本の 12%)
- (3) エネルギー自給率 (2013年) : 107%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2013年) : 2.6 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton、(日本の 0.2%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2013年) : 0.39 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 4.3%)
- (6) エネルギー別可採年数 : 該当なし

一次エネルギー供給構成 (2013年)



(出所) Lao PDR Ministry of Energy and Mines

発電電力量構成 (2013年)



(出所) ERIA Outlook 2016

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー鉱業省 (Ministry of Energy and Mines : MEM) がエネルギー及び鉱業分野を所管している。MEM 内のエネルギー事業局 (Department of Energy Business) が発電部門の民間投資に関する業務を行う。エネルギー政策計画局 (Department of Energy Policy and Planning) は、国家のエネルギー政策及び計画の策定、水力発電開発を推進する政策やメカニズムの形成等を担う。エネルギー管理局 (Department of Energy Management) は、エネルギーに関する法律、規定、技術・安全基準等を立案する。

### (2) 基本政策

- ラオスは電力セクターを経済の重要な部門と位置づけている。2016 年の第 10 回党大会で承認された「ビジョン 2030」では、電力セクターの戦略目標として以下を挙げている。
  - ① 適正なコストで電化率を全世帯の 98%に到達させる。
  - ② 競争力、持続可能性、効率性にに基づき、利用可能なすべての資源を開発する。
  - ③ 電力網の強化、協調により、ASEAN 地域との電力網の相互接続を促進する。
  - ④ 産業化と近代化の政策に沿って全てのセクターへ信頼できる電力供給を確保する。

### (3) 最近の動向

- 2017 年 10 月、EDL とタイの EGAT、マレーシアの Tenaga Nasional Berhad の 3 社は共同でラオスの水力発電事業に乗り出す。2018 年 1 月より、ラオスの水力発電施設からタイの送電線を経由してマレーシアに供給する。この事業は、電力事業としては ASEAN では初めてとなる 3 カ国による共同事業。

## 3. 日本とエネルギー分野における関係

- 2016 年 9 月、安倍首相は Thongloun 首相と会談し、ラオスの中長期的なインフラ整備などを盛り込んだ開発協力協同計画を決めた。送電網の整備などに協力し、同国が目標とする 2020 年までの後発発展途上国からの脱却を支援する。
- 日本はラオスの電力事業において技術協力を行っている。例えば、関西電力は Nam Ngiep1 水力発電所 (容量 260MW) の IPP 事業を行う。2014 年 11 月に建設着工、2019 年 1 月に運転開始予定。
- 2017 年 10 月、日本政府の有償資金協力による Vientiane の Nam Ngum 第 1 水力発電所で拡張事業の起工式が行われた。既存の発電能力 155MW に 40MW の発電機を増設する。

## 2. 主要エネルギー指標

(2013年)

(1)	一次エネルギー供給量	3	Mtoe(日本の1%)
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	0.44	toe/人(日本の12%)
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.28	toe/千\$
(4)	エネルギー自給率	107	%
(5)	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量(2013年)	2.6	百万 CO <sub>2</sub> 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量(2013年)	0.39	CO <sub>2</sub> 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率		
	石炭	7	%
	石油	25	%
	天然ガス	—	%
	原子力	—	%
	水力	45	%
	再生可能エネルギー等	23	%
(8)	エネルギーの輸入依存度	-7	%
(9)	石油の輸入依存度	100	%
(10)	輸入原油の中東依存度	—	%
(11)	原油輸入先		
	第1位	—	
	第2位	—	
	第3位	—	

(注) 再生可能エネルギー等は固形燃料(主に薪炭)。

(出所) Lao PDR Ministry of Energy and Mines、ERIA Energy Outlook and Energy Saving Potential in East Asia 2016((5)、(6))、EIA Country Analysis Brief - Laos